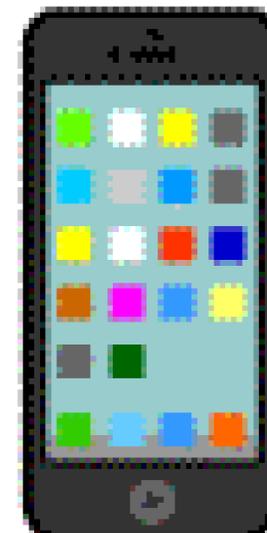
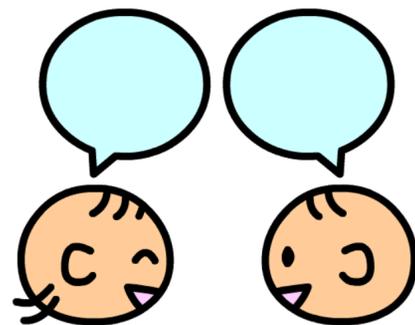


# iPhoneが生み出す好循環

～人とつながる魔法のりんご～



三重県立特別支援学校 北勢きらら学園  
小学部 上嶋 早苗

# 児童の実態

- 小学部6年生の男子
- 脳性麻痺が主障害
- PCWを使用して歩行する
- 好きなことは、食べること・ブランコ・ゲーム
- 受身で自分からの表出は少ない
- 座り込む、泣く、怒るなど、パニックになることがある
- 変化に弱い
- 視覚が優位
- 絵カードを使用してコミュニケーションする【4年時まで】



# iPhone導入きっかけ



## (絵カードブック)

便利・分かる・伝えられる  
やりとりができることを知る



## (歩行器を使用)

両手がふさがり持てない  
分厚くて持ち運びが大変  
→誰かに持って来てもらう

首にかけられる  
重さも大きさも変わらない  
音声が出てわかりやすい

iPhone導入



今では...

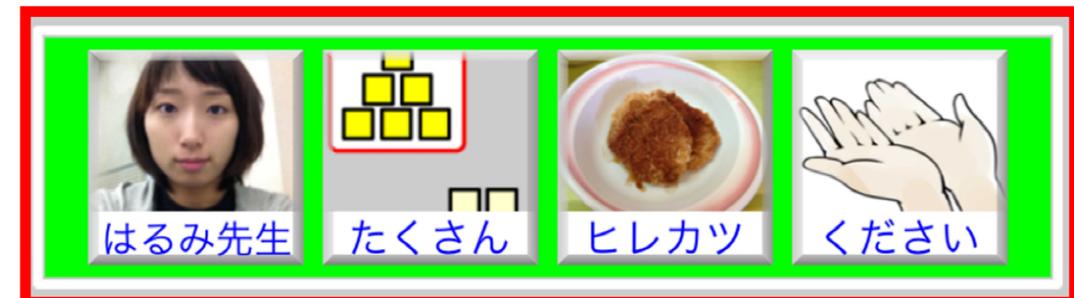


# iPhoneを活用しはじめたら...

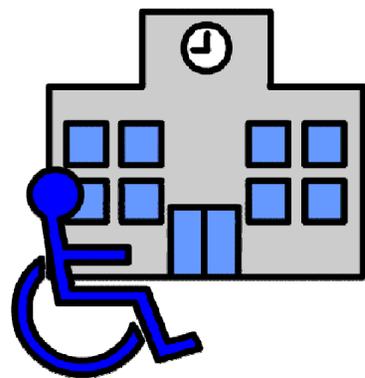
○欲しいものや、したいことを伝えられる

○何をやるのか、どこに移動するのか理解できる

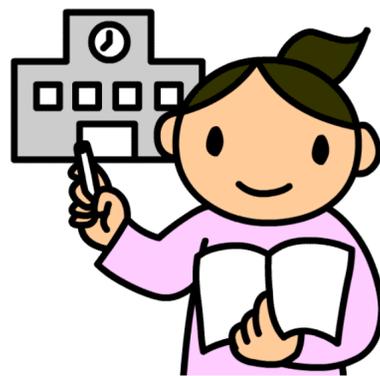
(例えば・・・給食の場面)



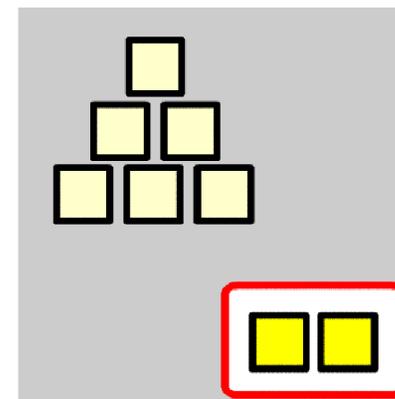
【場面】



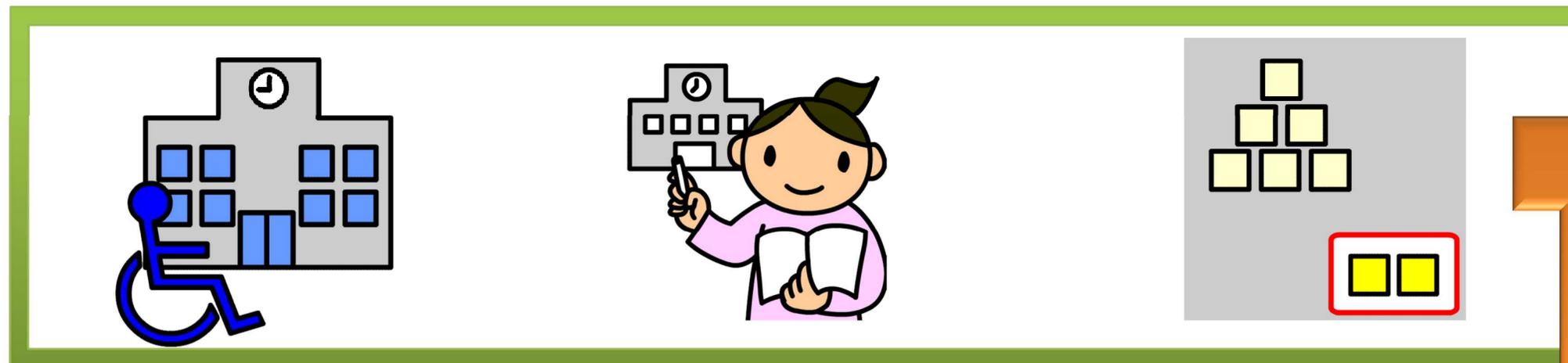
【相手】



【内容】



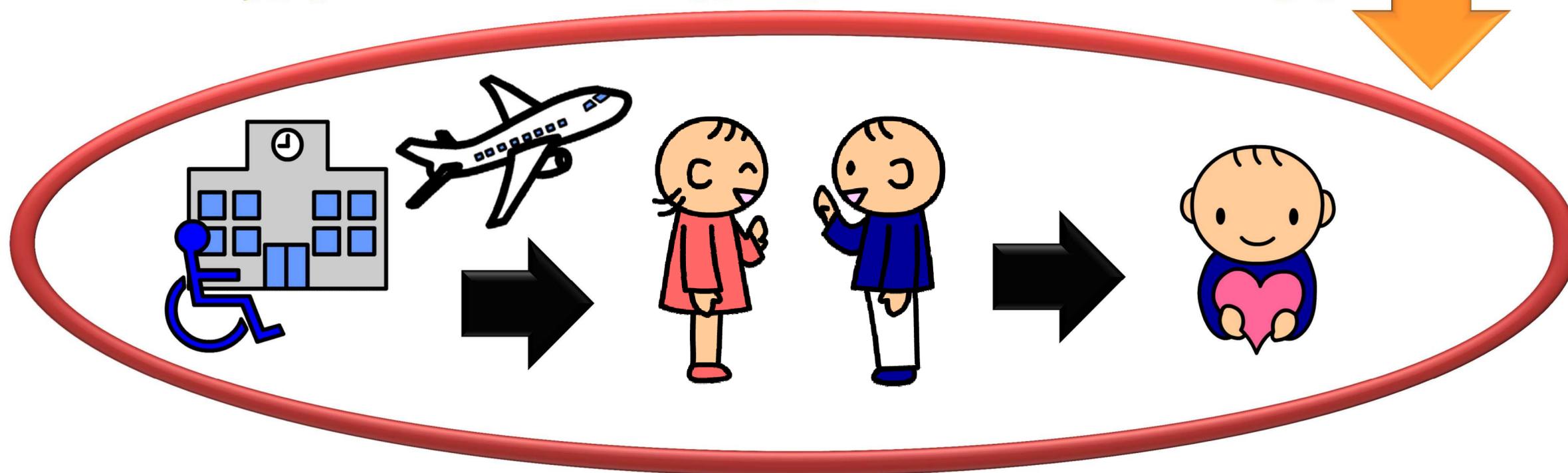
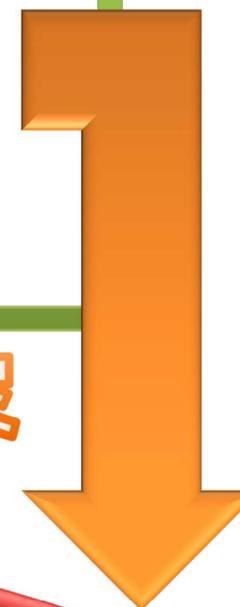
# 生活をよりよく、社会に跳び出す



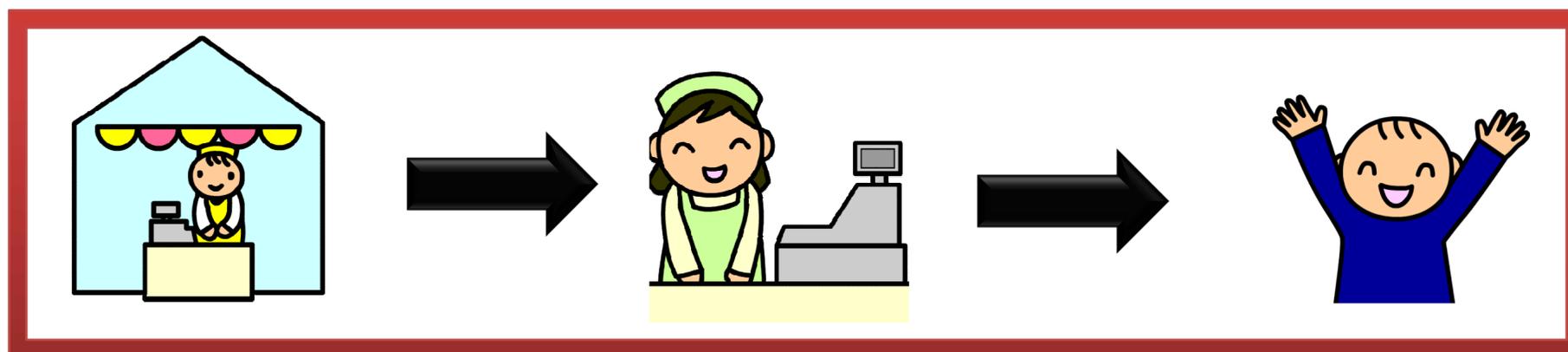
場面

相手

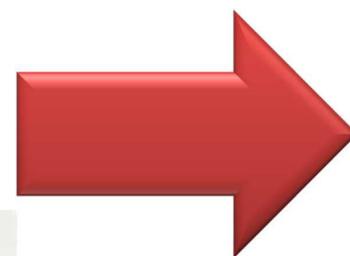
内容



# iPhoneを持って出かける

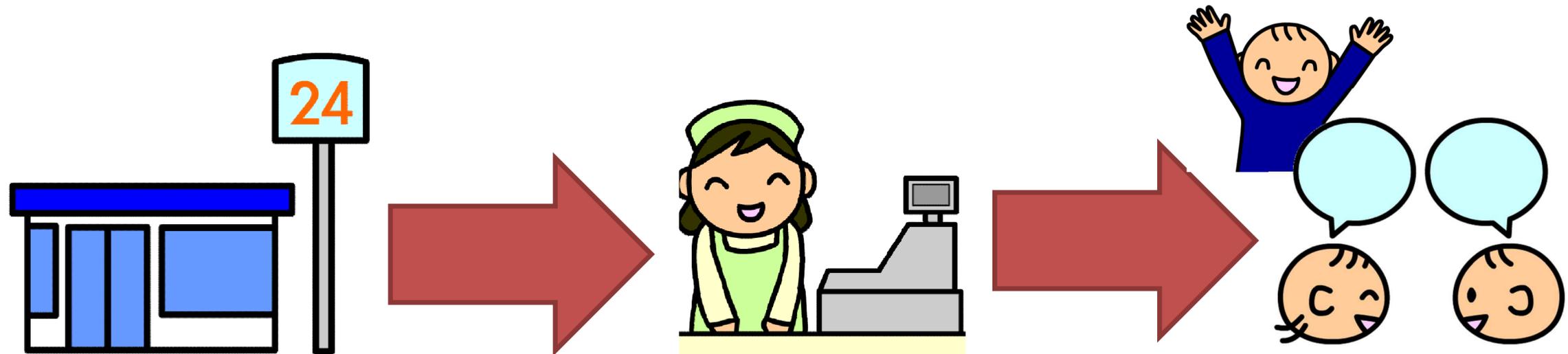


事前学習  
(買い物学習)



欲しいものは誰かが買って  
きてくれる！

# コンビニへの買い物



近くのコンビニから

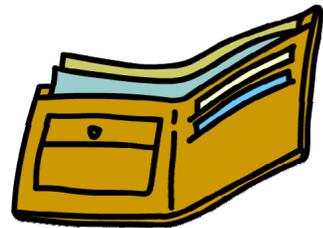
- (心配なこと・不安なこと)
- ・座り込むのでは...
  - ・怒るのでは...
  - ・欲しいものを伝えられないのでは...



# 伝えて買い物



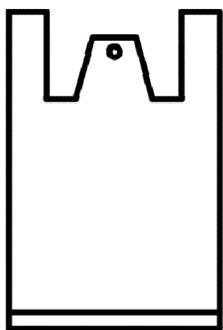
# 課題が...



支払いをしない

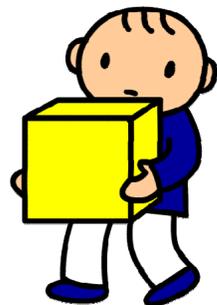


おつりを受けとらない



商品も受けとらない

持ち運ばない



いつも誰かが  
何も言わなくてもし  
てくれる

**受身  
依存**

# 変化①

## 【買い物の手続き】

→お金の支払い、おつり・商品の受け取りもできるようになる。(かばんから財布を取り出し、持つ)

## 【買い物の仕方】

→商品(お菓子売り場)をよく見てからレジに行くようになる。

→おやつ売り場を見ずに、レジに直行。強く買うものを決めている様子がある！



**自分で選択・自分で発信 「できる」が自信に！**

## 変化②



並んで待てることも...

実社会での経験

きた！！！！急いで片づける



# 変化③



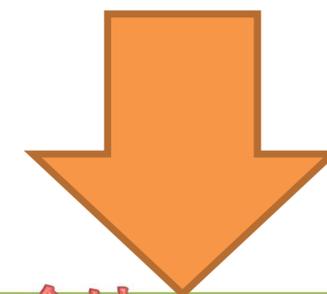
「落ちちゃった...」



自分の物は自分が持っていく  
自立への一歩

今までは...

- ・落としてもほっておく(誰かが取ってくれる)
- ・踏みつぶしていく
- ・座り込む



今は...

- ・立ち止まり呼ぶ
- 「手伝って」と表出する
- 自分で選んだもの!
- 自分で持っていく!
- 困った時は助けを求める!

# 校外学習先では...

もう一度



...で昼食注文



今度は歩いて、カウンターまで行ける。

「てりやきマックバーガーセット、下さい」

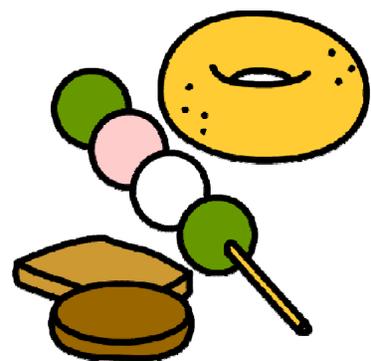
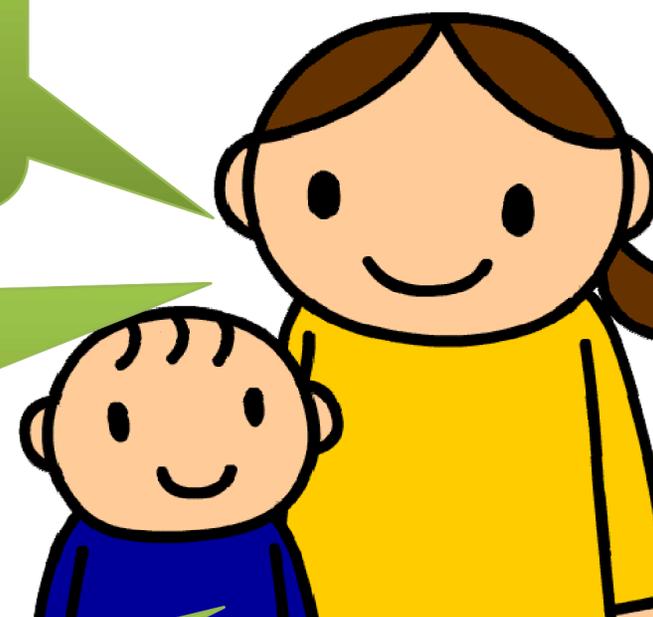
欲しいものを注文し、笑顔で昼食をとる

# 生活（家）での取り組み

欲しいもの、好きなものは分かる  
選ぶこともしてる

家では...特に...使わなくても...  
しかし、怒る・パニックになる...

うちの子が買い物ができるかな...



欲しいおやつを  
自分で決める・伝える

# 母へ



スケジュールで確認

# 家から外出（買い物編）

欲しいものを選択  
伝えられる

自分で持つ

お金の支払いもOK

食べるのが上手い

これが食べたかった  
最高♪



# 家から外出（変化編）

内容	iPhone活用前	iPhone活用後
買い物	母を車で待つ	自分で買う
欲しいもの	母が決める (カップアイス)	自分で決める (棒アイス)
一緒に行く 人	×	家族・ ヘルパーさん
	受身・依存	自己決定・ 自立

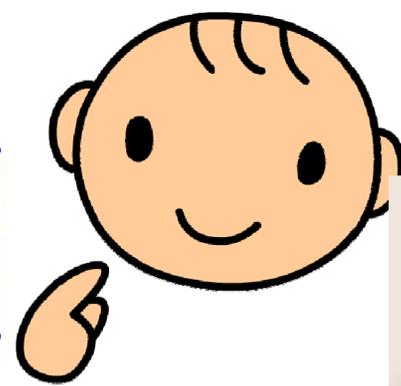
# 家から外出（変化編）

【繋がる相手の広がり・場面・気持ちの向上】

家族・ヘルパーさんとコンビニへ買い物

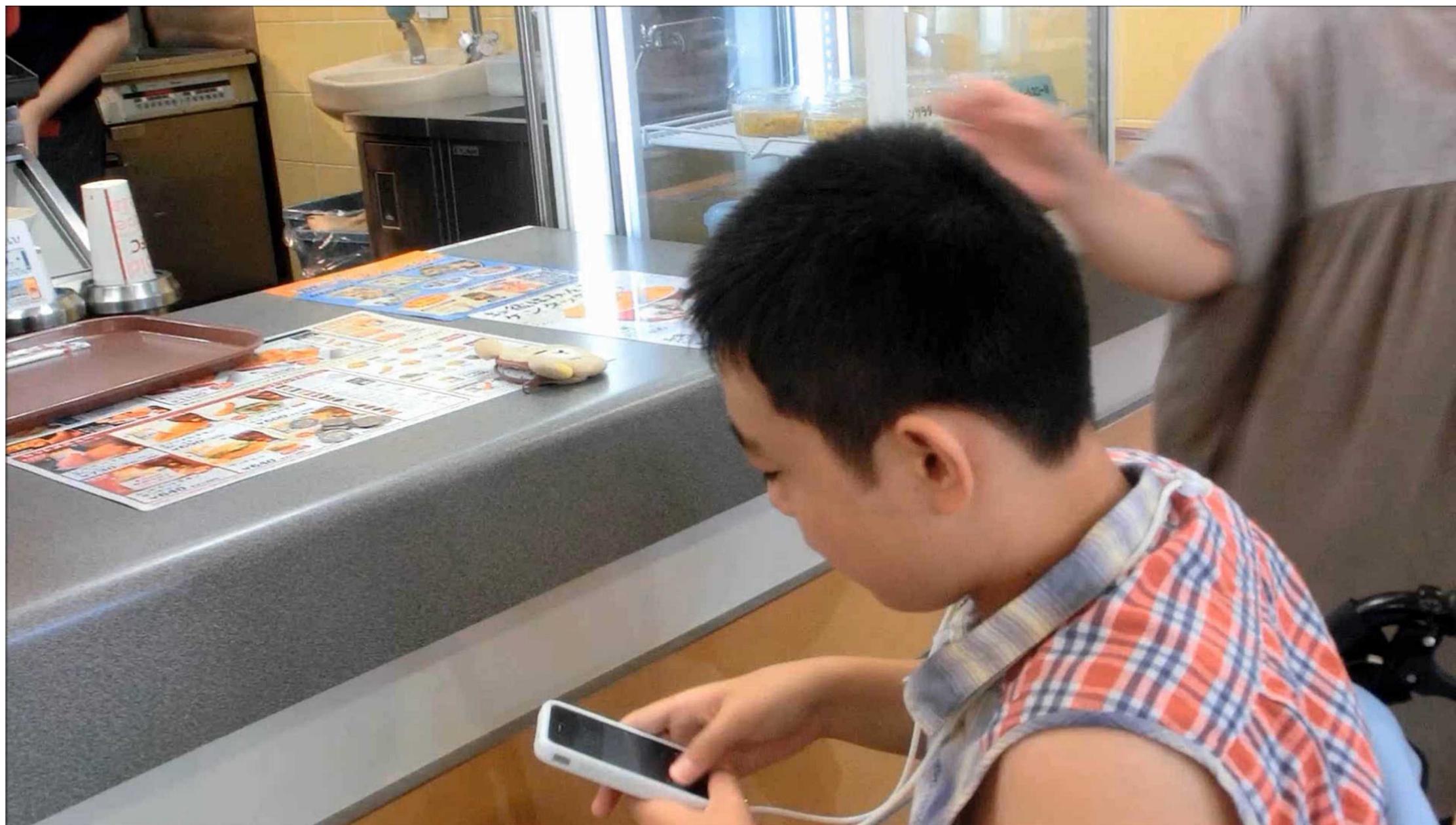
本当に食べたかったものを  
購入できる・食べられる

今までは  
カップアイ



スイカバー  
ジャイアント  
コーン

# 家からの外出（昼食編）



# 母のコメント

昨日は自分でスケジュールに「ファミポート」  
入れてくれました。前の晩に紙の  
スケジュール。次の日の朝 ~~ファミポート~~ iPhoneの  
を確認して、「違うじゃん!」と感じて、私が  
伝えるために入れてました。

最近、朝、iPhoneのスケジュール確認の時  
スケジュールを一つずつ消しながら確認してます。  
たいてい「で起る男」に見えます。

## 家庭からの連絡

\*昨日のお家での様子、朝の健康状態、発作の様子、担任に知っておいてほしい事など  
いつも学校から帰ってくる時 iPhoneを机の上に置いておくのですが、今まで家では  
ファミポートでお菓子のスケジュールをやる以外、あまりわかることはなかったのですが、昨日はなにを思った  
のか、「1つ、フリッツください」と出して、私が、「フリッツはいない」と言うと笑った。何回か、  
フリッツのおねだりがあり、「たぶん! たぶん!」とやりとりした後、今度は、「カリカリアイスください」と出して  
きたので、たまたま、家にはファミポートのフリッツのカリカリくんを見せると「カリカリアイスください」ともう一回  
出してきたので、カリカリくんを食べました。その後は明日の予定を「起る → 痛る」まで一通り呼びだし、確認  
が終わると、給食のメニューを呼びだし、いくつか出したあと、「みそうどん」を何度か押したので、  
「みそうどんあき?」と聞くと笑顔で連打してました。これから家でもこういうフリッツが増えると  
うれしいな〜とこれまでの学校での取り組みに感謝しながら感激していました。ありがとうございます!!!

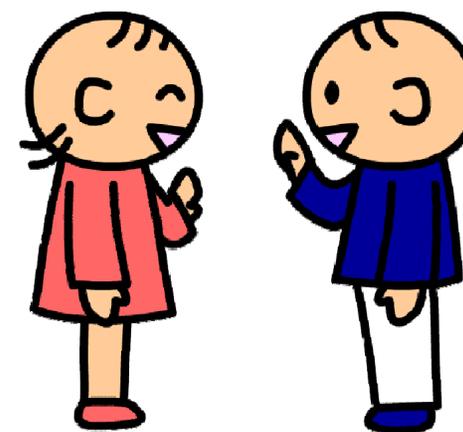
# 取り組みから

- 伝えること→「欲しいものを得られる」を学ぶ  
どんどん伝えようとする
- 自分から動けることが多くなる  
意欲が高まると、自ら動ける
- その他の場面でも伝えようとするが増える
- 母や家族の気持ちにも変化をもたらす



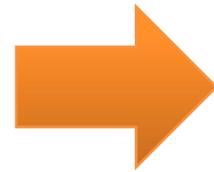
## 具体的には...

- ・活動の切れ目に怒る・座り込むことが減る
- ・人とのやりとりが増える  
担任→担任外の教員→店員
- ・場面が広がる  
学校→校外→生活(家庭)
- ・伝える内容の広がり(質の向上)  
決められた場面→困った場面・手伝ってほしい場面→おふざけ(遊び) わざと



# 広がるやりとり

- 座り込こむ → 伝える



手をつないで.MOV

手伝って → 手をつなぐ

- 調整もできる タイマー & スケ & 呼びかけ
- 「いいりません」も伝えられる いいりません
- あいさつ さようなら

# まだまだあります...

伝える手段がある、何をするか分かるとは...

学校祭で教員の出し物中

(4年生) 座り込んで怒る

(5年生) 怒る前にiPhoneで「ブランク」を表出

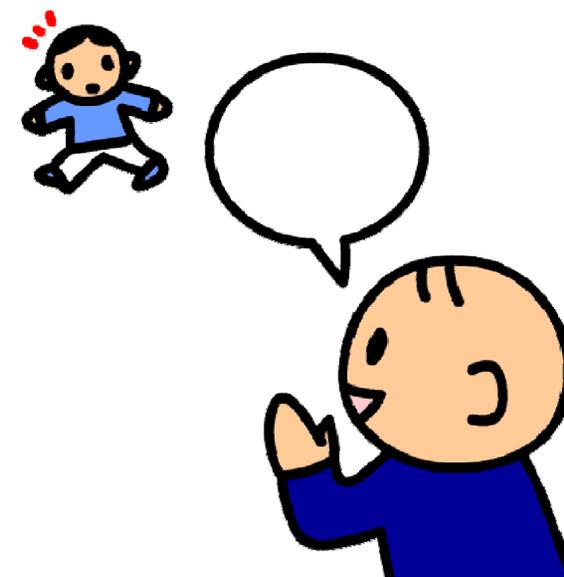
(6年生) 事前に遊び、静かに一緒に見る

好きなことばかりを言うばかりではない

調整も、やりとりもできる

# まとめ

伝えようとする気持ちが高まる  
(伝わらなかった)

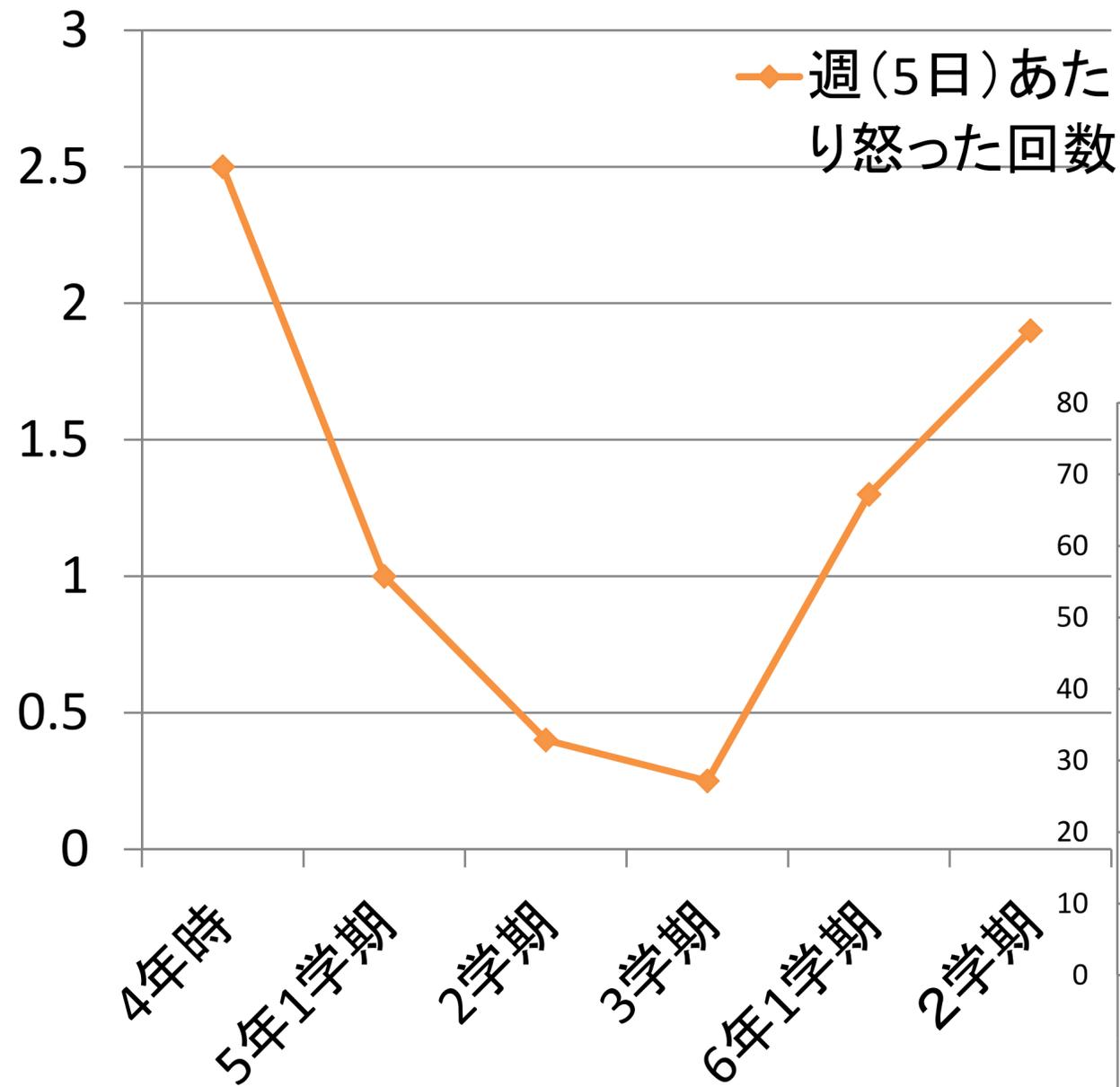


- ボリュームをあげようとする
- 腕で相手を指し「ハーイ」と呼ぶ
- スピーカーを繋げて大きな音を出す

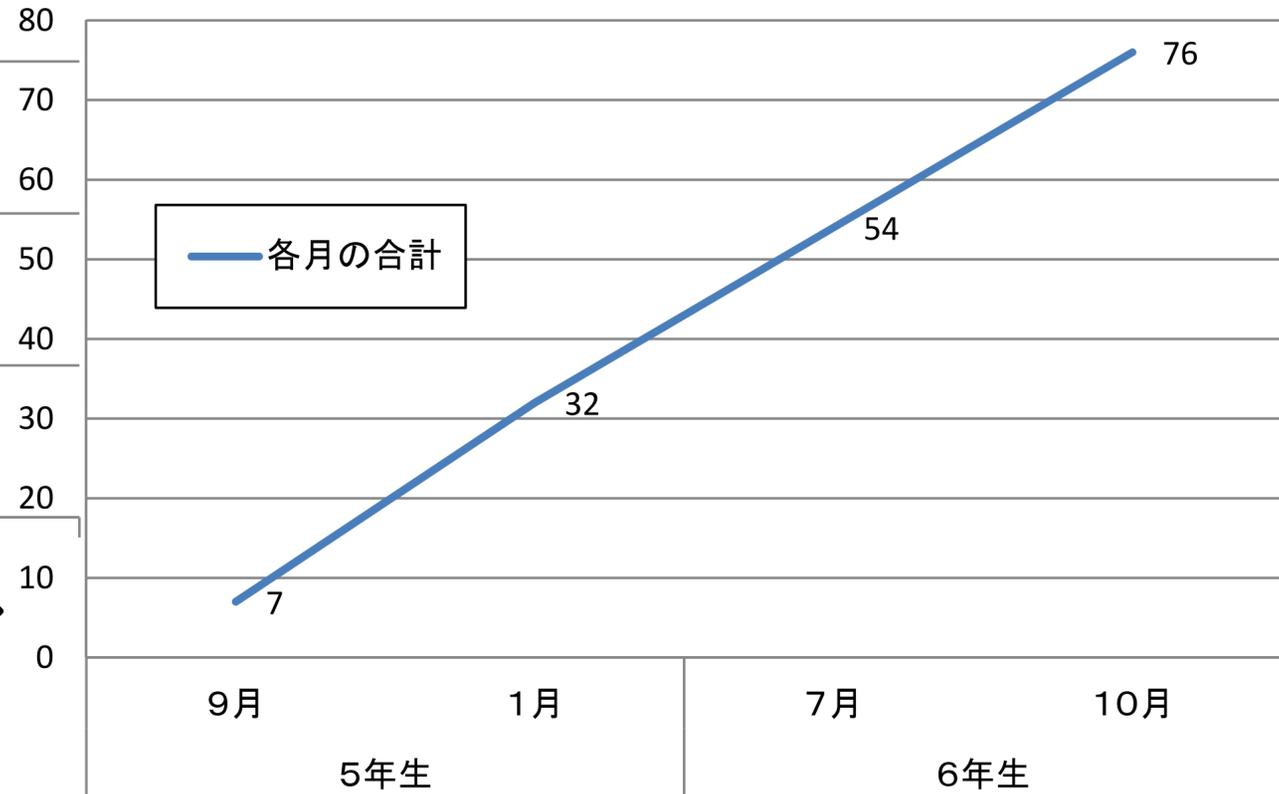


何とかして伝える  
方法を考える

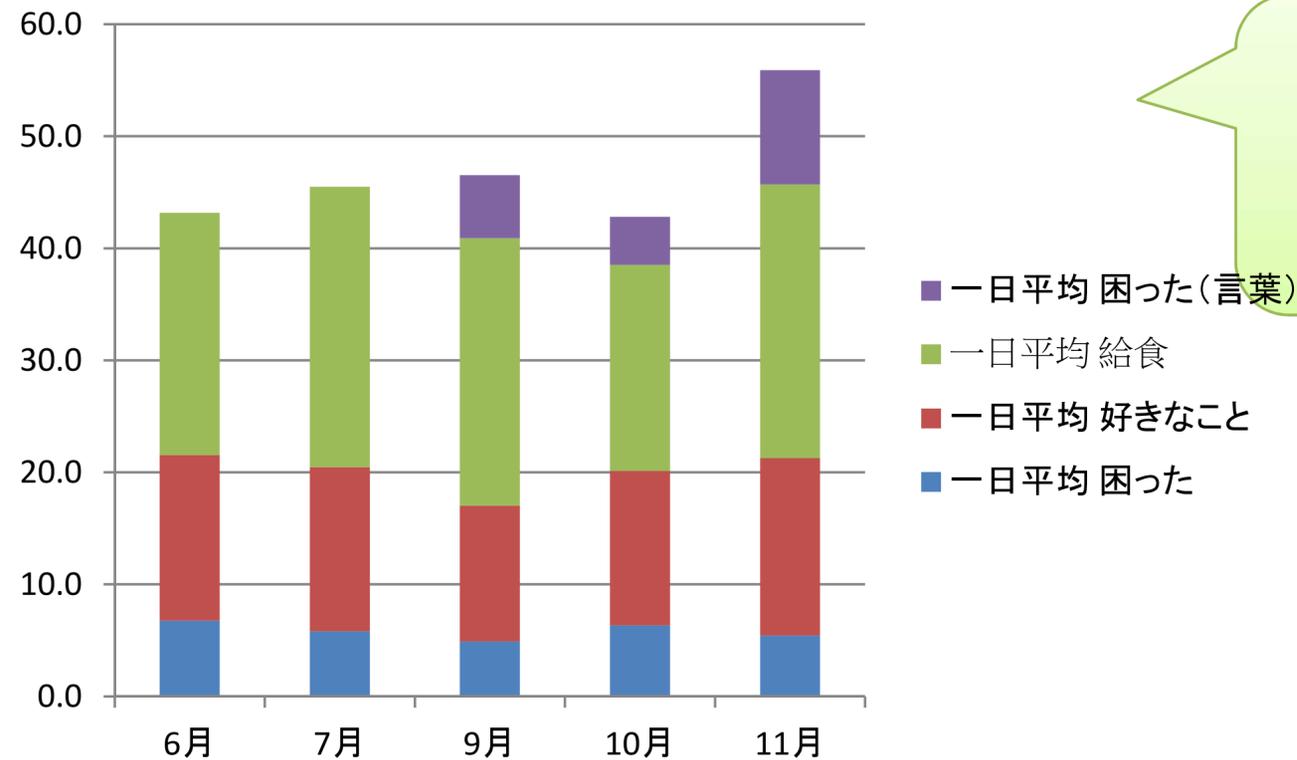
# 活動・様子の変化①



## 困った場面での表出回数の変化

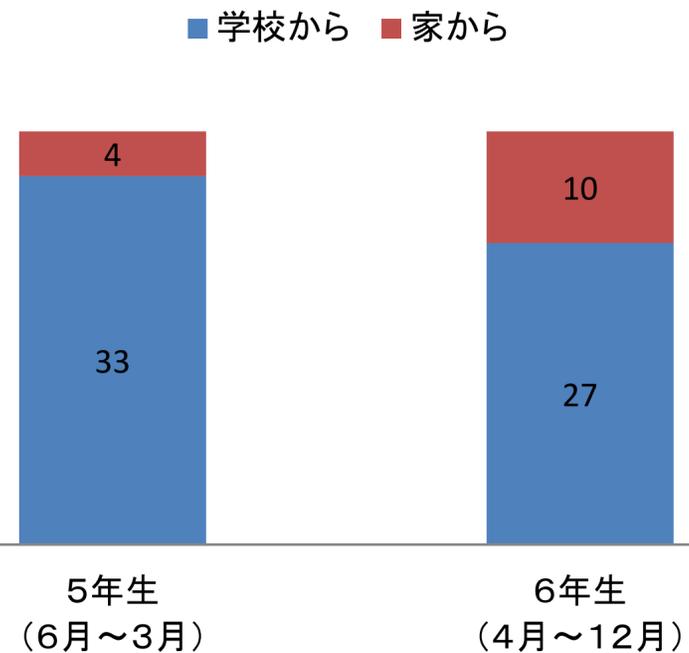


# 活動・様子の変化②



ことばでの表出が増えてきている

## 買い物回数の変化



生活に広がりつつある

## 変化2

	カード時	i Phone時
場面	給食、 ブランチ	家、授業、買い物 休憩時間など
回数	10～15回	40～45回程度／日
相手	担任	教員 親、店員など
文 構成	3語文	4語文 (属性語も含む)

# iPhoneツール

- 自分の思いを伝えられ、意欲が高まるツール  
(iPhoneというツールがあるからこそ冗談も)
- 生活をよりよいものにしていけるツール
- 気持ちの調整(変更の受け入れ、これをした  
らこれができるなど)ができるツール
- できなかったことができるようになるツール
- 本人の気持ちだけでなく、家族の気持ちにも  
変化をもたらせるツール

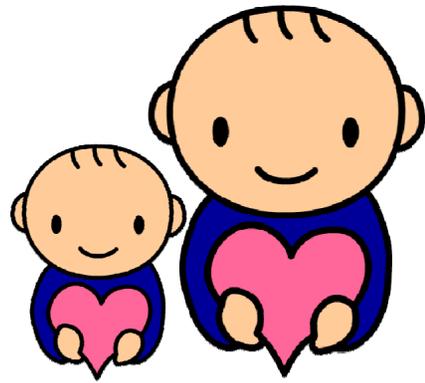
「iPhone」で広がるやりとり、コミュニケーション



# 生活と共にあるiPhone

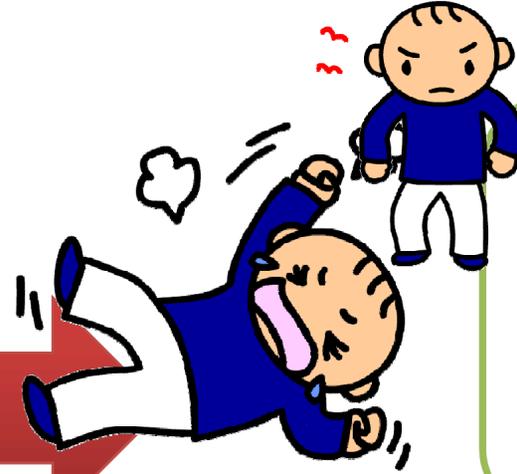
- PCWで移動する本児にとって、軽量で首かけができ、多機能・操作も簡単なiPhoneは、**本人の一部**といってもよいくらい重要なアイテムになりえた。
- 社会一般に広く普及しているのもので初めての相手も**違和感なく受け入れ**てくれ、様々な場面・相手への使用の可能性が広がる。
- 今後さらに本人のニーズに合わせた広がり  
が、使い方場面ともに期待できる。





気持ち

伝えたいけど手段が...  
分かってもらえない



パニック

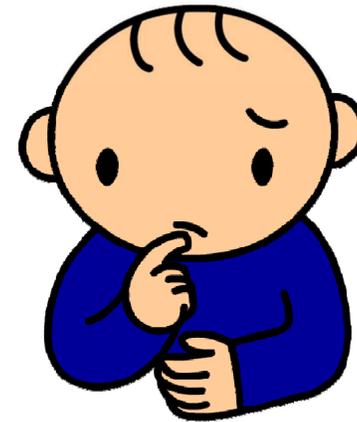
何を言われているか分  
からない。  
歩けない。  
伝えられない

やる気なし  
依存



諦め

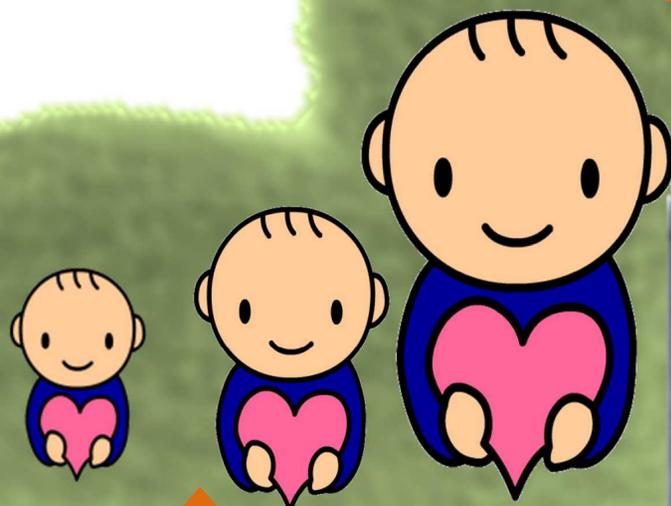
他のものが良かった...  
でもまあいいか



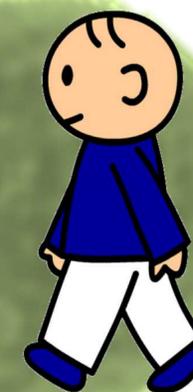
受身・依存

誰かにしてもらう  
誰か決めてくれる。  
誰かがに助けてもらう

気持ち



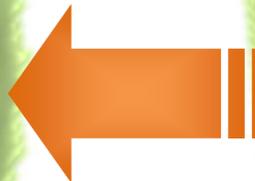
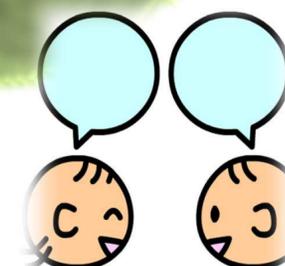
移動OK



好循環



伝えられた!



ゲット



# おしまい

タブレットを活用することで  
できることが増えるかも...  
できなかったことができるかも...  
人とのつながりが広がるかも...  
子どものねがいが叶うかも...

ご清聴 ありがとうございます

